

愛護センターだより

発行:敦賀市少年愛護センター

住所:敦賀市東洋町1番1号

電話:0770-23-0189 Fax:0770-23-0523

『青少年健全育成都市宣言』 都市:敦賀市

我が子が大きくなったら…

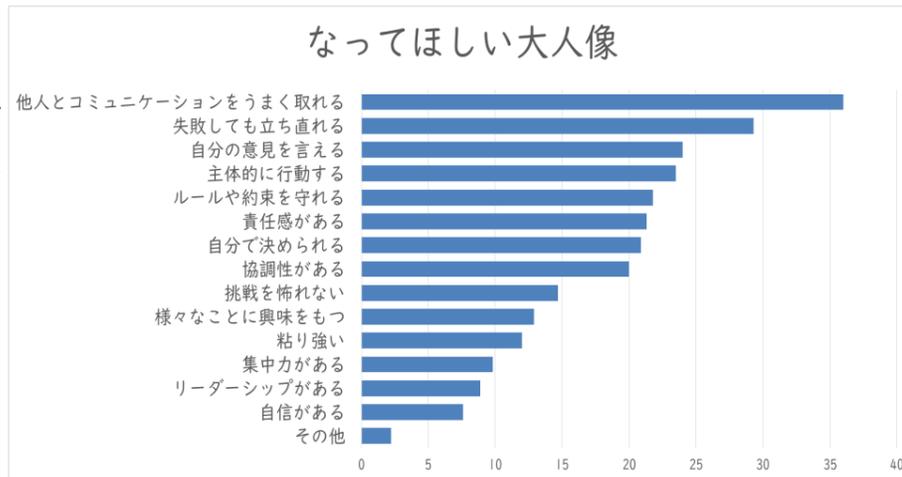
AI教材を小中高生に提供する『atama plus』が、保護者に「これからの社会を生き抜いていくために必要な力」や「なってほしい大人像」に関する調査を2022年10月に実施し、その結果を公表しました。調査対象は、小学生から高校生の子どもをもつ保護者1200人。

「これからの社会を生き抜いていくために必要な力」については、「他の人とうまくコミュニケーションがとれる」「自分で判断して、選んで決められる」が同率で第1位。第3位が「学ぶこと、働くことの意味を理解し、今しなければならないことを考えられる」という結果だったそうです。



こうした力が必要な社会を生きていくことになる我が子の「なってほしい大人像」の第1位は「他人とコミュニケーションをうまく取れる」、2位「失敗しても立ち直れる」、3位が同率で「自分の意見を言える」「主体的に行動する」という結果でした。

親が経験したことがないような変化があると予測される未来。親がアドバイスできないとなると、子どもが自身で道を切り開いていかなければなりません。そのために、我が子には自分の意見を伝え、



みんなと話し合いができる「コミュニケーション力」や正解がないことへの挑戦に必要なチャレンジ精神と行動力を身に付けてほしいと願っている…ということでしょうか。

ただ、願っているだけでは、そうした力を育むことはできません。親子・家庭での対話・会話によりコミュニケーション力を養い、親が見守る中で子どもが失敗し、親の応援を胸にそこから成長していく経験がなければなりません。そのためには、家族が揃う時間が必要です。忙しい毎日ですが、子どもがよりよく、たくましく、笑顔で生きていくために、子どもと一緒に過ごす時間を作っていきましょう。



わが子の写真が…

子ども達がSNSを利用することで、変なサイトを閲覧して騙されなにか、トラブルに巻き込まれないか…被害者となってしまうか心配は尽きません。その一方で、私たち大人は大丈夫かという…。例えば、「子どもの成長の記録に…」とって気軽にSNS上に子どもの写真をアップしていませんか？それは、大変な大きな問題に発展する危険性を孕んでいる…ということをご承知ですか。



先日、オーストリアの10代の女の子が両親のSNS上にアップした写真をめぐって、訴えを起こした…という事例を耳にしました。それは、両親がFacebookに娘のおむつ交換やトイレトレーニング写真などが500枚以上投稿していたケースについて。その女の子は、自分の「幼い頃の恥ずかしい写真が誰でも見られる状態であることに耐えられない！」と、両親に削除を求めたのに応じてもらえなかった…ということでの訴えだそうです。

「何を大げさな？」と思いますか？

親であっても子どもの「肖像権」を無視してはいけません。いえいえ、親だからこそ子どもの「肖像権」を守らなければならないのです。子どもの人権を守るためにも大切なことです。というのも、生成AIを使えば、こうした写真一枚を元に、画像を不適切に加工し、また動画として合成することが可能になります。「スシペロ」と名付けられた動画が話題になりましたが、あの動画にお子さんの顔を貼り付けて、動画として投稿することも可能なのです。いかがわしい動画に子どもの顔を貼り付けて、わが子が演技しているように加工できる世の中になりました。また、それが虚偽のものだったと証明されたとしても、SNS上に広がったものは消すことのできないデジタルタトゥーとして残り続け、子どもの一生に大きな禍を残す可能性があるのです。

また、児童ポルノサイトに子どもの写真が転載される…という可能性もあります。実際に、子どもの裸やおむつ交換の様子など写真が、児童ポルノサイトに転載されていたという例も聞きますし、保育園の入り口で写真を投稿したブログの読者に待ち伏せされ、「〇〇くんだよ」と声をかけられたという話もあります。SNS上にアップされた写真は、見る側の考えていくだけでも悪用できてしまうのです。



保護者がSNSに子どもの写真や動画を投稿することについて、ピクスタが行った「子ども写真のSNS投稿に関するアンケート」（2023年3月0歳から小学校高学年までの子どもを持つ保護者対象）による

と、「家族や友達に近況を伝えたい…54.5%」「子どもの成長の記録として残したい…52.1%」が約半数を占めたそうです。その気持ちは分からないでもないですが、不特定多数の人に見られるとしたら、様々な可能性が考えないと、子どもの将来に関わる問題となってしまいます。

学校でも、参観日等「撮影・録画禁止」「撮影は可能だがネットへの投稿はしないこと」というお願いを保護者にしているのは、こうした危険から子ども達を守るためです。

子どもの写真は熟慮の上でSNSに投稿するかどうかを判断してください。子どもの将来を守るためです。

